

令和7年度 会派議員派遣報告書

会 派 名	みらい
議 員 名	宮垣 秀正、松野 諭、石井 克昭、中迫 勇三
議員派遣先名	地方議員研究会（リファレンス広島小町ビル）

派遣費用

科 目	支出額	摘 要
研修・研究費	24,640 円	旅費（@6,160 円×4 人）
研修・研究費	30,000 円	研修会受講費 （@10,000 円×2 人、@5,000 円×2 人）
研修・研究費	1,705 円	振込手数料 （@110 円、@440 円、@495 円、@660 円）
合 計		56,345 円

1 三原市での課題と派遣の目的（本市の現状と課題を明確に）

議案審議や市民生活の福祉増進に向けた議員活動を目指し、議員としての基本的な知識を習得するため、次の2講座の議員基礎研修に参加した。

- 1) 「議員力」を上げる！政策立案と提案力
- 2) 予算・決算を読み解く「財政」に強い議員が最強

2 実施概要（1カ所目）

実 施 日 時	派 遣 先	リファレンス広島小町ビル （広島市中区小町ビル 3-19）
令和7年5月28日 10:00 ~ 12:20	担当部局	
報 告 内 容 ・ 所 感	<p><u>議員基礎研修</u>：「議員力」を上げる！政策立案と提案力 講 師：杉本 康介（こうすけ）地方議員研究会事務局長</p> <p><u>研修の概要</u> 政策立案と提案力 ～「何をしているか分からない議員」にならないために～ 議員の仕事って何ですか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民の福祉の増進（地方自治法第1条の2） ・“何をしているか分からない議員”から卒業せよ ・『議員の売り』を設計せよ 	

<p>報告内容 ・ 所感</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一般質問を“提案型”に進化させる ・ 提案力がある議員＝影響力がある議員 ・ 他の自治体の成功事例をどう使う？ ・ “実現可能な公約”に変える戦力的思考 <p>所_____感</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 選挙に出た動機や公約を再確認することができた。 ・ 議員として市民に語れるテーマを持つ必要性を感じた。 ・ 一般質問において問題提起だけで終わるのではなく『どう解決したいか』を示す議員として活動していきたい。 ・ 今回紹介して頂いた RESAS や RAIDA を活用しデータ、根拠、数値を共有し現状認識し課題解決に向けての政策提案を心がけたい。
<p>市政に活かせること (まとめ)</p>	<p>質問を行う上で、現状を執行部と共有することにより現状認識ができ、課題を抽出し、その課題解決に向けての制度改正や事業予算化の提案になるよう今後の質問に取り組んでいきたい。</p>

※ 施設先の写真・資料等を必ず添付すること。

2 実施概要 (2カ所目)

<p>実施日時</p>	<p>派遣先</p>	<p>リファレンス広島小町ビル (広島市中区小町 3-19)</p>
<p>令和7年5月28日 13:30 ~ 16:00</p>	<p>担当部局</p>	
<p>報告内容・所感</p>	<p><u>議員基礎研修</u>：予算・決算を読み解く「財政」に強い議員が最強講師：杉本 康介（こうすけ）地方議員研究会事務局長</p> <p><u>研修の概要</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・議員の仕事は「住民」の福祉の「増進」。杉本講師は「増進」に拘り向上＝サービスの質・内容の改善、満足度向上を意味する増進＝内容や範囲の拡大・推進、施策の広がり・影響範囲、政策レベル、地域全体の推進 杉本講師の拘りがよく理解出来た ・他市の動向として、決算不認定増加しているとの説明→事実要調査が必要 ・議会ルール of 把握について 全国共通ではなく、ローカルルールが多いため、自分達で時代に合わせ見直しが必要 <p><u>所感</u></p> <p>「議員制度の知識」という内容を中心に学ぶことができ、有意義な研修会であった。</p>	
<p>市政に活かせること（まとめ）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな決意。初心に戻り地方自治体第1条の2「住民の福祉の増進」を基本に議員活動に励む。 ・政策・課題解決に向けた取組のなかで、成果を確認することが自治体でも重要。そのための手段の一つとして、原点である「地方自治法と条例、会議規則」を機会がある時に読む習慣を身につける。 ・政策提案、福祉増進の取組に対し、どの制度の活用、交付税や補助金活用例等把握する取組を今更ではあるが、必要であり掘り下げていく。 ・現在はインターネット、ChatGPT など簡単に活用出来る環境が整いつつある。積極的に活用し、多くのデータを把握のうえ提案することが重要。 ・個人で調査や考える力には限界があるので、積極的に若者や大学生の意見を聞く場を設けることが重要。 	

※ 施設先の写真・資料等を必ず添付すること。